

記者会見で映画への思いを語る子役や役者ら19日、沖縄大学



「宮森の悲劇 伝えたい」

映画「ひまわり」出演者決まる



児童ら18人が死亡した1959年の宮森小軍機墜落事故の証言

を基に創作する映画「ひまわり」の子役オーディションで、小中学生8人が合格した。出演者のうち子役7人や役者の北島角子さん、吉田妙子さんらが19日、沖縄大学で記者会見し、映画を通し事故の悲惨さを伝える決意を語った。

主人公・山城良太役の金森喜祐君(桑江中1年)は「宮森小にジェット機が落ちた大変、悲惨

な映画。その気持ちを忘れず、しっかりやりたい」と語った。

同級生役の兼城夏穂さん(沖縄アミークスインターナショナル5年)は「演じることで追体験し、事故の恐怖や53年前の子どもたちの気持ちを伝えたい。今も基地を抱える沖縄のことを少しでも多くの人が知る手伝いをしたい」と意欲を見せた。

犠牲者の母役の北島さんは「当時、亡くなった子の父母は私と同じ年ごろ。子を思う親の心を代わりに伝えたい」と強調した。